



49億円の道の駅周辺整備事業の凍結を

河合 克平議員

計画に基づき事業を遂行する

産業建設部長

質問

- ①各種団体への補助金の削減。
コミュニティ連絡協議会や老人会・婦人会・子供会・廃品回収の補助金の削減。行政事務委託料の値下。廃品回収の補助金の削減。行政事務委託料の値下
- ②学校教育の削減
放課後子ども教室の廃止。各種の学校教育補助金の削減。卒業の記念品の贈呈を一つに削減。卒業記念品の印鑑を黒水牛からつけ印に変更。キャンプの補助金の廃止。修学旅行の補助金を削減。
- ③福祉分野の削減
布団洗濯乾燥サービスの縮小。75歳以上の非課税一人ぐらい高齢者の医療費無料の新規受付中止。在宅障害者扶助の65才以上の新規受付の禁止。乳がん検診布事業の廃止。緊急通報システムの電話代負担の廃止・有料化。家庭介護用品介保おもつ代の支給縮小。3人目の出産祝金の廃止。精神障害者3級医療費の全疾病から精神疾病への無料化の縮小。高齢者福祉施策の対象年齢を65才から75才へ引上。自立支援施設利用料補助の廃止。
- ④市民の負担増
施設の使用料の値上 2000万円。学校給食費の値上2回 2000万円。愛西市水道料の値上2回 2000万円。保育料の15%の値上3000万円
- ⑤公共施設の廃止民営化
庁舎統合計画により、佐藤、立田、八間の旧庁舎の縮小・廃止。佐屋北保育園の廃止。永和保育園の廃止・民営化。福原分校・農業環境改善センター・立田社会福祉会館・立田図書館の廃止。佐屋プールの廃止。立田総合運動場・愛西の里の廃止、民間に委託。

▲行政改革で削られた住民サービス

問 49億円をかけて道の駅周辺整備を今行うべきなのかどうか疑問が5点ある。

- 1点目は、整備費用が高額になり、14億円も事業費が拡大をしていることは、基本構想や基本設計に問題はないのか。4億円の一般財源の負担は、1年で1億円ほどになり返済も始まる。
- 2点目は、完成後の財政支出が不明である。
- 3点目は、駐車場の課

題があり、渋滞回避の迂回路の課題が解決していない。

- 4点目は、1人当たり都市公園等面積は、8・87㎡で、54自治体中15位なので比較的充足している。
- 5点目は、行政改革の名のもと、各種団体の補助金の削減、学校教育補助金の削減や布団乾燥サービスの縮減、庁舎統合計画による庁舎の縮小、佐屋北保育園の廃止、

遂行する。

答 観光拠点を創設し、地域価値の向上を目指すため計画に基づき事業を

凍結すべきでは。

億円の道の駅の計画は1

以上5点の理由で49

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1

億円の道の駅の計画は1



▲県道458号線（一宮弥富線）の歩道設置

県道458号線の安全対策を

問 議会でも求めた歩道が実現したが、安全対策は。「幅員減少」の予告看板を設置する。